

引津人権だより

糸島市人権・同和教育推進協議会 引津支部

第 38 号

令和6年11月1日発行

市同協引津支部事務局
糸島市立引津コミュニティセンター
TEL/FAX: (092) 328-0855

人権講演会

引津校区人権・同和教育指導員 坂口 久美子

7月21日(日)、同和問題啓発強調月間事業「引津校区・人権講演会」が行われました。今回の講演会は、「みんなが共に生きる社会へ」をテーマとして、講師に在日朝鮮人3世の徐スズキ麻弥さんをお迎えし、主にヘイトスピーチ体験についてお話いただきました。

日本社会において朝鮮半島由来の方々が人種差別を受け苦しんでおられる具体的な話を聞き、心が痛みました。「朝鮮人帰れデモ」の状況や、ネットで繰り返し上げられる誹謗中傷の現状をうかがいました。そもそも朝鮮の方々は大本営による植民地支配の結果、日本に住むことを余儀なくされたのです。先の戦争において、ほとんどの日本男性が戦地におもむく中で、朝鮮の方々が国内での労力として連れてこられたのです。

歴史をひもとくと、日本には土木技術や宗教、政治思想、磁器技術などが朝鮮半島から渡ってきました。日本文化のスタートは朝鮮なくしては有り得ないものでした。それにもかかわらず、朝鮮の方々を差別するのは、無知の表れと言わざるを得ません。

差別され、日本社会で生きづらくおられる在日朝鮮人の方々の気持ちに寄り添いたいと思いました。



民族衣装のチマチヨリを着て講演をする徐さん

引津支部役員フィールドワーク「雷山空襲」

引津校区人権・同和教育指導員 坂口 久美子

9月21日(土)、雷山空襲のフィールドワークを行いました。20名が参加しました。今回の目的は糸島で唯一戦禍にあった雷山空襲について学ぶことです。

雷山空襲では、一瞬のうちに25戸の家屋が焼き尽くされ、8名の人や多くの動物の命が奪われました。当時、糸島にはたくさんの軍事基地や工場があったにもかかわらず、雷山のみが空襲を受けたことを知りました。しかも空襲の対象を見誤った誤爆だったそうです。

雷山空襲では人々が寝静まる夜中に爆撃を受け、肉片が飛び散る中、死に物狂いで逃げ惑ったそうです。今も残る被害の痕跡がその悲惨さを物語っています。空襲の規模こそ小さいように思われますが、その戦禍は決して風化させてはなりません。

雷山には空襲被害にあわれた生き証人や歴史保存会の方々がおられ、戦争という人類最大の人権侵害について訴える活動をされています。

今回のフィールドワークにおいて、現在のウクライナや中東で起きている戦禍に苦しむ人々の気持ちを計り知ることができました。

「ハテ、世界は進化でなく退化・後退しているのではないだろうか。」



防空壕の説明



空襲で首が吹き飛んだお地藏様

12月4日～10日は人権週間です

引津支部では、同和問題を始めとするあらゆる人権問題の正しい認識を高め、一切の差別を許さない校区住民の育成を目指しています。

※人権映画祭の詳細は裏面をご覧ください!

みなさまのご参加をお待ちしています♪

【人権週間行事】

12/1(日) 14:00～ 街頭啓発@JA 糸島アグリ

12/7(土) 14:00～ 人権映画祭@引津コミセン

12/8(日) 14:00～ 人権映画祭@姫島公民館



人権映画祭のご案内

入場無料

引津会場 『最高の人生の見つけ方』

日時：12月7日(土) 14:00~上映(113分)

会場：引津コミュニティセンター大研修室

出演：吉永 小百合、天海 祐希、ムロツヨシ、満島 ひかり、
鈴木 梨央、賀来 賢人、前川 清 他

人生を家族に捧げてきた主婦と、人生を仕事に捧げてきた女社長が、余命宣告を受けて、ある少女の「死ぬまでにやりたいことリスト」を実行する旅に出る。自分を大切にする喜びを知った二人の輝きが、まわりの人たちの人生も変えていく。豪華キャストで送る、人生の新しい一歩を踏み出す勇気をくれる作品です。



(c)2019「最高の人生の見つけ方」製作委員会

姫島会場 『オレンジランプ』



日時：12月8日(日) 14:00~上映(99分)

会場：姫島公民館

出演：貫地谷 しほり、和田 正人、赤井 英和、中尾 ミエ 他

39歳で若年性認知症と診断された夫とその妻の9年間の軌跡を、実話に基づき描いた、希望と再生の物語。認知症患者本人やその家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか？認知症になっても安心して暮らせる社会とは？年齢を重ねていく全ての人がより良く生きるためのヒントに満ちた心温まる作品です。

